



久留米城下町の宗教センター!!  
久留米城を守る前線基地?

いらか  
夢を争う寺院群 寺町

**江** 戸時代に城下町だった都市には、たくさん寺院が集中している地区が見られることがあります。そこは、寺町と呼ばれ、概ね全国の城下町で確認することができます。

久留米城下町にも、寺院が集まる地区が3ヶ所程度認められ、特に集中する場所は、現在の町名「寺町」となっています。

では、なぜ寺町はつくられたのでしょうか？寺町は宗教的役割とともに、久留米城を守る防御機能も合わせ持っていました。

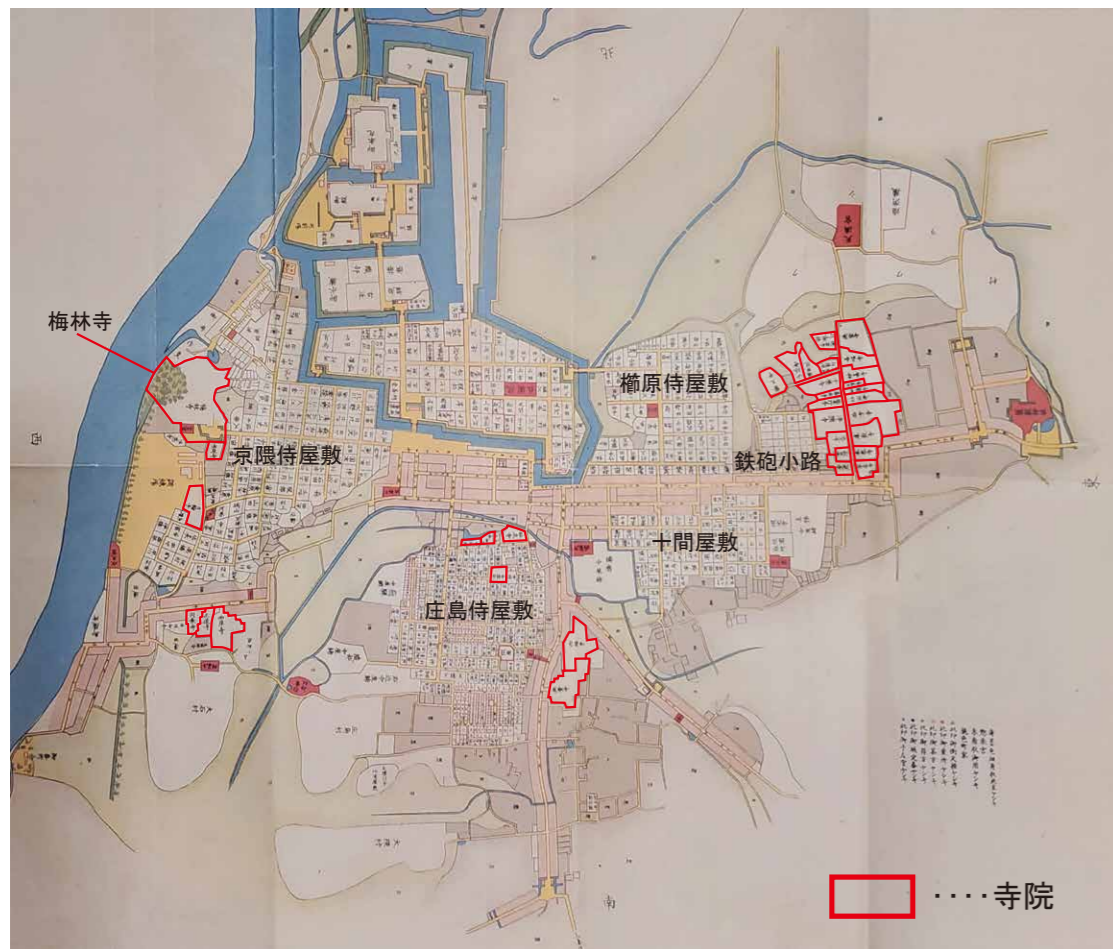
### 1 城と城下町

江戸時代、全国には約300ともいわれる多くの藩が成立しました。藩主たちは藩内を統治する拠点として城を築き、周囲には城下町を整備しました。そこには家臣や町人たちを集住させ、藩の政治・経済・交通・軍事機能を集中させることで、都市として発展していくことになります。

戦国時代までの城は、防御施設としての意味合いが強く、その立地は山の頂や中腹であったため、その周囲に大規模な町が発達しませんでした。しかし、関ヶ原の戦い（1600年）を経て戦乱の世が収束に向かう頃、広い土地が確保できる沖積平野を舞台に城づくりがはじまります。そこは防御性には劣るものの、水陸の交通網が発達し、経済の拠点として発展していきます。

久留米藩初代藩主の有馬豊氏が久

留米城に入城した1621年、久留米城と城下町の整備が始まりました。



「天保年間久留米城下図」(1830～1843年頃)に見る久留米城下町と寺院の配置



17ヶ寺が建ち並ぶ寺町  
初代藩主・有馬豊氏の久留米城下町建設に伴い整備された



多くの寺院が建ち並ぶ寺町。その成立には久留米城防衛に関わる大きな狙いがあった!



## 2

### 都市計画と寺町

城下町には藩庁としての城を中心  
に、家臣が住む侍屋敷、町人が住む  
町屋などが整備されました。久留米  
城では、城に近く小高い場所に侍屋  
敷が形成され、主要幹線道路沿いに  
は町屋や寺院が集中した寺町が設け  
られています。

久留米城は筑後川左岸の丘陵上に  
築造され、城下町の北西に位置して  
います。その北側と西側には筑後川  
やその氾濫原が広がり、自然の地形  
で防御されています。一方、南側と  
東側には各方面への幹線道路が通り、  
久留米城の防衛上は手薄な場所とい  
えます。そこで久留米城を東と南側  
から取り囲むように城下町を形成し、  
防衛ラインを形成したと考えること  
ができます。

東方の日田や南方の柳川へ向かう  
幹線道路の城下町入口付近には多く

の寺院が集められ、久留米城の南西  
付近には梅林寺などの寺院が建立さ  
れました。

では、寺町は誰によって、いつ、  
つくられたのでしょうか？寺町の整  
備は徐々に進められていきましたが、  
初代藩主の有馬豊氏によって、久留  
米入城の1621年に開始されてい  
ます。早期に着手されていることか  
ら、久留米城と城下町の都市計画に  
とって、欠かせないものだったこと  
が分かります。

広い境内を持ち、大勢の武士達が  
参集することができる寺院は、戦国  
時代には武将が逗留したり、戦時に  
は軍勢を終結させるなど、重要な軍  
事拠点となることがありました。



山王山と呼ばれていたこの丘陵は、  
筑後川河畔に位置することから、筑  
後川を行きかう船舶を監視するの  
絶好の場所でした。

ここに久留米城下最大の寺院・梅  
林寺を建立したことは、久留米城の  
防衛と藩内を統治する上で極めて重  
要な意味を持ちました。梅林寺の南  
には同年に日輪寺を建立し、163  
4年には法泉寺を建立しています。  
さらに南方の瀬下町にも円乗寺、正  
蓮寺、西岸寺などを配置していき、  
久留米城南西の防御を固めていきま  
した。

## 3

### 豊氏の城下町づくり

初代藩主の有馬豊氏は、大坂の陣  
の戦功などにより、丹波福知山から  
加増転封され、1621年に久留米  
城に入城しました。福知山には関ヶ  
原の戦いによる戦功が評価され16



有馬豊氏が治めた丹波福知山に復元された福知山城の  
天守閣

00年に入封しましたが、久留米へ  
移るまでの20年間、福知山のまちづ  
くり尽力しました。

福知山城は明智光秀により整備さ  
れたことで知られていますが、現在  
の街区の原型となる近世城郭と城下  
町の形成は、有馬豊氏が行ったと考  
えられています。豊氏時代の福知山  
城下町の様子を伝える「丹波福智山  
城之図」を見ると、福知山城の北西、  
由良川沿いに寺町が設けられていま  
す。

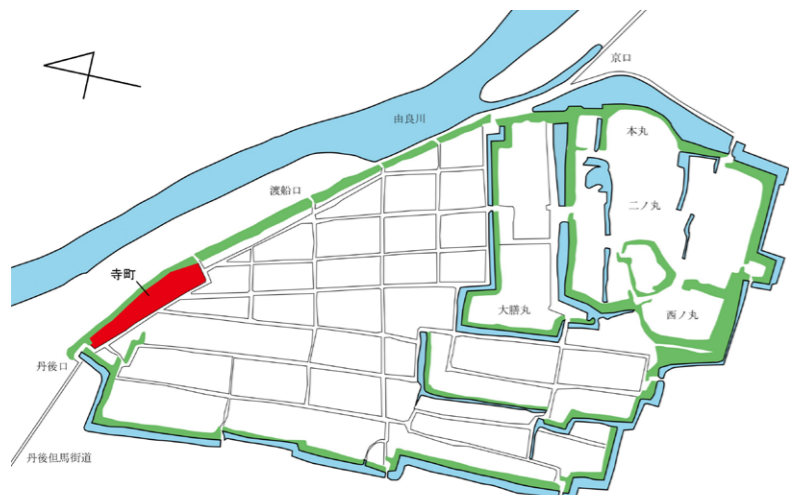
織田信長が明智光秀に討たれた時、  
本能寺に宿泊していたことは有名で  
す。城下町が攻められた時に寺院は  
軍事施設となることを想定し、城下  
町の重要な場所に集められ、寺町が  
形成されたのです。

一方、有馬家の菩提寺として16  
21年に建立された梅林寺は、久留  
米城南西の丘陵上に立地しています。



久留米城下最大の寺院・梅林寺（北上空から）

そこは北方の丹後や但馬へ向かう幹  
線道路が城下町へ入る「丹後口」に  
あたり、さらに由良川を航行する船  
への渡船口が隣接しています。福知  
山城と城下町の防衛上、極めて重要  
な場所に寺町が整備されており、久  
留米城下町の原型が、すでに福知山  
において成立していたと考えらえま  
す。



「丹波福智山城之図」（篠山神社蔵）から作成した福知山城下町の模式図  
城下町の入口付近に寺町が配置されている



有馬豊氏は利休七哲にも数えられる文化人として知られています。江戸城や駿府城、大坂城の普請などにも携わるなど、築城や土木工事に**関する技術にも長けて**いました。福知山城と城下町の整備を行った慶長年間（1596〜1614）頃は、全国で城下町の建設ラッシュが起きていた時期です。豊氏は持ち前の土木技術と最新の情報を駆使して、福知山の町づくりを行ったものと思われます。そして、有馬家は1621年に久留米へ転封となりました。

有馬家の後、福知山は幕府領や藩主が4家代わるなどしましたが、福知山城下町は大きく改変されることはなく、**有馬豊氏が整備した城下町が幕末まで続いて**いきました。そして現在の福知山市街地にも、豊氏の都市計画が生き続けています。

各寺院には久留米の発展に貢献した多くの先人たちが眠ります。徳雲寺には久留米緋の始祖・井上伝、善福寺には洋画家の古賀春江、真教寺には藩校明善堂の設立に関わり教授となつた**樺島石梁**、遍照院には江戸時代後期の尊王思想家・**高山彦九郎**の墓などがあります。



各寺院には、江戸時代に建築された歴史的建造物や仏像、絵画などの貴重な文化財が伝わっています。寺町の本**泰寺山門**は市内最古の平唐門で、**市指定有形文化財**となっています。真教寺本堂は江戸時代中期の建築で、先行する山門とともに貴重な歴史的建造物です。1959年に建築された千栄寺本堂は、**石橋正二郎**氏が寄進したもので、教会を想起させるユニークな本堂です。

### 4 寺町探訪

久留米城下町には、概ね3ヶ所に寺院が集中する地区があります。最も多いのは現在の寺町で、他は**本町と莊島町付近**、そして京町と瀬下町付近です。

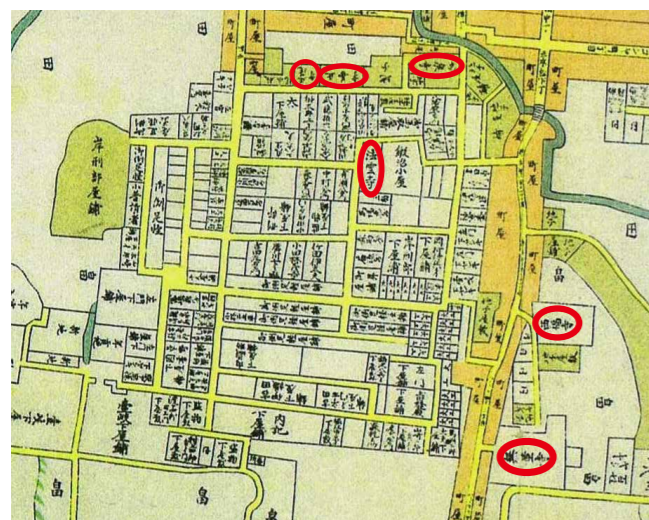
寺町は初代藩主の有馬豊氏の時代から整備されはじめ、2代**忠頼**の時代を経て、3代**頼利**の時代に完成しました。豊氏は1621年から4年間で、福知山から移設した寺院や領内の寺院を移設するなど、15ヶ寺を配置しました。延宝年間（1673〜1680）には**25ヶ寺**が配置されていますが、そのうち5ヶ寺が2代忠頼の時代に建てられていることか



千栄寺本堂  
株式会社ブリヂストン創業者の石橋正二郎氏が寄進



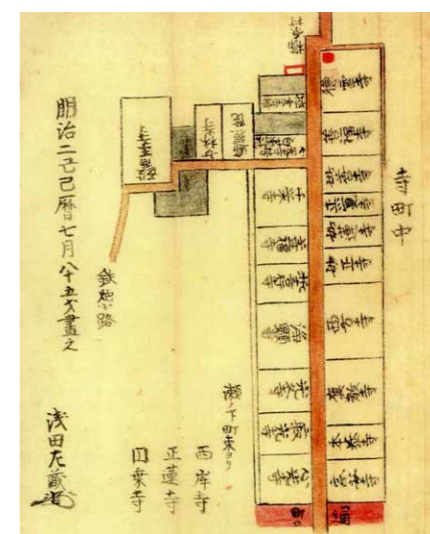
本泰寺の山門  
一間一戸の平唐門で、市内に残る平唐門形式としては最古（市指定文化財）



「延宝八年久留米城下図」(部分)  
1680年の本町〜莊島町付近 無量寺や西福寺など6ヶ寺が見える

本町の無量寺は、1663年頃に現在地に移つたとされますが、鎌倉時代に作られたとされる**木造阿弥陀如来立像**（国重要文化財）が伝わります。両手とも肘を曲げ、第1・2指を捻ずる説法印の形は珍しいとされます。

ら、豊氏の時代にはほぼ完成していたことが窺えます。その後、天保年間（1830〜1843）や、1868年には22ヶ寺が所在し、現在は17ヶ寺となっています。



1868年の寺町  
22ヶ寺が所在したことが分かる



京町の梅林寺は有馬家の菩提寺で、歴代藩主や一族などが祀られています。「久留米藩主有馬家墓所」は、国史跡に指定されており、その中には、市内最古の木造建築物「有馬家霊屋五棟」(国重要文化財)も所在します。他にも絹本著色釈迦三尊像(国重要文化財)や絹本著色楊柳観音像(県指定有形文化財)など数多くの文化財が残されており、有馬家菩提寺としての繁栄が窺えます。

瀬下町の円乗寺、正蓮寺、西岸寺は、2代忠頼による新たな町割りの一環として移築されました。川港と



無量寺の木造阿弥陀如来立像  
(国重要文化財)



瀬下町の水天宮通り  
2代忠頼による新たな町割りに伴い3ヶ寺が移設された

して新たに瀬下町が整備され、同時に配置された3ヶ寺は新たな歴史を刻んでいきました。

寺院が建ち並ぶ寺町には、久留米城下の都市計画と城下町の歴史が息づいています。

令和3年9月1日

◆発行／久留米市教育委員会

◆問合せ／久留米市市民文化部文化財保護課

TEL：0942 (30) 9322

FAX：0942 (30) 9714

E-mail：bunkazai@city.kurume.fukuoka.jp

